



平成15年8月

第31号

札幌東高等学校同窓会

ごあいさつ



同窓会会長 吉 中 新太郎

同窓会の皆様におかれましては、国内外各地・各分野で活躍のことと想います。今年はイラク戦争があつたり、地方選挙も札幌市に象徴されるような形で終わり、デフレの中で景気の先行きが見えないなど、政治経済の転換期を思わせます。

一方、同窓会活動は、東京支部、函館支部、札幌市役所自彌会の支部活動をはじめ同期会の活動も盛んになり、同窓会同士の交流の場が増えているように思います。又、今年も四〇〇人の新入会員を迎えるましたが、特に進学校として後輩達の頑張りも際立ち、母校を思う気持ちにも力が入ります。四月からは、朝野隆校長先生から福井誠一校長先生に「克己自彌」の精神が受け継がれています。

そんな中、同窓会総会の時期になりましたが、例年どおり多くの皆様と懐かしい出会いの場になることを楽しみにしています。更に、この総会は平成十九年に迎える歴史的な「母校創立一〇〇周年」のお祝いの準備開始の契機とするべく、皆様と一緒にいろいろ語り合えれば幸いと考えています。同窓会の組織も、その事を充分考慮して、各支部との連携・常任幹事の増員・役員の役割分担など実施してきているところです。今後とも、多くの会員の皆様のご意見を頂きながら、同窓会の運営をしていきますので、皆様には一〇〇周年と言う貴重な目標に向って、温かいご支援・ご指導をいただきますようお願い申し上げます。母校の益々のご発展と会員皆様のご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

ごあいさつ



札幌東高等学校長 福井誠一

同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のことと拝察いたします。日頃から母校の発展のために何かと温かいご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。今春、創立一世紀に及ばんとする伝統ある本校の校長として着任いたしましたが、日々明るく生き生きと目を輝かせて活動している生徒達や、意欲的、積極的に指導に当たっている教職員の姿を見て、本校に勤務できる喜びを感じております。

本校は、校訓「克己自強」のもと、長い歴史の中でそのときどきの時代の要請に応えながら、道内屈指の進学校として躍進を続けております。これも偏に同窓会の皆様の母校への変わらぬご支援の賜物であり、また、皆様が築き上げた伝統や校風が確実に後輩に受け継がれている証しであると考えてお

ります。現在、社会の変化はめざましく、人々の生活意識や価値観が多様化している中で、今なお伝統や校風が心の支えとなり、日常の教育活動に生きさせていることは、本校の歴史の重さによるものであります。私は、今後も心身ともにバランスの取れたたくましい子どもたちの育成のために、本校の素晴らしい校風や伝統を心に植え付け、指導していきたいと考えております。

さて、教育改革が進行中の今年度は、完全学校週五日制が二年目に入り、新しい教育課程も新一年生から始まっています。「子どもたちにゆとりを持たせ、生きる力を育む」というねらいが、指導していくと考へております。

今春の進学状況は、国公立大学への現役合格者が百五十八名でこの三年間では最も多く、全道二位となりました。特に、東大現役二年連続三名の合格や医学部への合格者の増加、東大、京大、一橋大などの難関道外國公立大への合格者の増加が目だっています。こうした傾向は今後も続くと思われますが、ために「学力が低下するのでは」との実績は生徒の努力はもちろん、教職員の献身的な努力や保護者の皆様の協力、同窓会の皆様のご支援による

て、昨年度から五十五分授業を実施しているほか、土曜日には講座や自学習のための学校開放を実施しております。また、全国的に少子化による生徒数の減少傾向が続いていること、道教委の学校規模の適正化を進める配置計画により、本校も本年度から一クラス減少して一学年九クラスとなりました。こうした教育を取り巻く環境の変化を敏感に受け止め、今後も教育内容や方法の改善のために適切に対応しなければなりません。本校生徒が持つ高い資質と能力を生かして、将来社会で立派に活躍できる人材を育成するために、これまでの長い歴史の中で培ってきた伝統の力を存分に發揮させ、今後も道内有数の進学校として一層信頼される学校づくりに努めたいと考えております。

終りになりましたが、本校の発展のために、同窓会員の皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げ、併せてご健勝とご活躍をお祈り申します。

大会出場を決めるなど目覚しい活躍をおり、今後の活躍が期待されます。また、部活動では、陸上、剣道、体操、卓球、バドミントン、空手、放送局が全道大会に出場し、中でも陸上の男子一六〇〇リレー、女子空手で全国大会出場することになつて、同窓会員の皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。



昨年の同窓会をふり返つて

第九十三回同窓会実行委員（三十三期）

土肥 寿郎

昨年の同窓会の幹事期は十九期、三

十三期、五十二期でした。今年の同窓会でもそうでしょうが、このうち特に中心となつて動くのは三十三期（今年は三十四期）です。

十九期は十四年前に一度幹事を経験しており、その時から「同期会」を結成して十四年後の今回に備えていたといい、クラスごとに最低一、二名の中心となつて動く人員（実行委員）がいました。彼らがそれぞれのクラスをまとめていたので、広告集めなどはクラスごとに比較的スムーズに集められるとのことでした。

問題は十九期より一回り以上年下の三十三期のメンバーでした。たまたま三十三期の同窓生が東高に教員として勤務していたこともあり、彼を中心で実行委員の面子を揃えようとしたのですが、なかなか思うようにはいかず、実行委員を引き受けってくれそうな人は二〇〇二年の年明けの時点ではわずか三人でした。そこで、一計を案じました。今後の同窓会の実行委員集めにそのことが有効ではないかと思い、

書き記しておきます。

四月に行われる十九期、三十三期合同の第一回実行委員会議に先立つ、二月。三十三期の数人のメンバーで、連絡先のわかる三十三期同期生全員に手紙を出しました。それは「三十三期合同クラス会開催のご案内」というようなものでした。

「卒業以来二十年、毎年クラス会を行つているクラスもあれば、卒業後一度もクラス会を行つていないクラスもありますが、十クラス合同の同期生のパーティー」というのはこれまで一度も行つられておりません。急な話ですが、○組と○組の有志が集い、このたび三十三期の第一回同期会を企画しました。

懐かしい面々と昔話に花を咲かせようではありませんか。皆様奮つてご参加ください」

この企画は第九十三回同窓会の実行委員を集めるためのいわば「罠」でしたが、急な案内にもかかわらず、同期生の経営するレストラン（会場）にクラスを超えて三十数人が集まりました。それで、楽しく飲食しながら、

「実は……」と同窓会の話を切り出し、

最終的に二十三人の実行委員を集めたのです。その多くの人たちは未だに実行委員になつたことを悔やみ、「あの時、○○と××にはめられた」と憤っています（笑）。そうして実行委員の面子を確保し、十九期とともに無事昨年の幹事を務めることができました。以来、十四年後の幹事を射程に入れて、十九期と同様に、その後も三十三期だけの同期会は続けております。



平成十五年度八東会総会 (学校卒業四十五周年記念) をふり返つて



八東会会長 前川 勝

ります。現在は総会の時だけではなく、お互いの趣味で「ゴルフ同好会」もあります。東京支部には「八登会」という登山同好会があり会員同士の友好を深めています。

今年は学校卒業四十五周年という節目の年になつておりまして、東京支部との「合同総会」を開催することになりました。東京支部は北海道外の会員が加入しております。

「学校卒業四十五周年記念総会」は定山渓温泉のホテル・ミリオーネで五月二十四・二十五日の一泊二日でおこなわれました。

私たちと、ほとんど年齢がちがわないとと思わせるほど若々しい恩師・本間英吉先生からは、

「私が高校教師になつて初めてクラスを担当して、卒業生を送り出したのは、皆さんの八期生です。それだけに、想い出も多く皆さんの成長を楽しみにしました。

先生への感謝の気持ちで胸が熱くなりました。

「私が高校教師になつて初めてクラスを担当して、卒業生を送り出したの

懇親会に入りました。

・日本舞踊 藤間流 古山誠子師匠
の「黒田節」を披露しました。

・日本舞踊 古山誠子師匠と八東会

の女傑八人集で「おてもやん」を

明紀さんは大分県玖珠町から、大久保良輝さんは大阪府の三島から、林宣考さんは滋賀県の彦根市から、白石清子さんは青森市からそれぞれ駆けつけて下さいました。その他の方々は東京周辺ですが、最も遠くから駆け付けて下さったのは、ネパールのカトマンズから来られました。

松村勇さんでした。

しかし、その反面、親しい友とのお別れをしなければならない事もありました。学校卒業四十五周年記念の「八東会・東京支部合同総会」は昨年、旅立たれました四名の方々への黙祷を捧げてから総会が始まりました。東高校歌は日本混声合唱団指揮者である杉原正城さんの先導で齊唱しました。若き良き青春時代に返りまして、それぞれの榮光の「ひとこま」を描きました。

【校歌を唄う 卒業の別れ 思いだし】

私たちの殆どは、定年を迎えて、第二の人生を歩んでおります。しかし、自分だけのことでは精一杯です。ところが、先生のお言葉で、八東会に出席することを楽しみにして下さっていると、いう事を知り、新しい力が沸いてきたような感じさえしました。

【師を思う私の心より 遥かに深い師の心】

先生への感謝の気持ちで胸が熱くなりました。

佐藤安倫氏ら多くの同志と共に活動を始めました。

第八期卒業ということで同窓会名を「八東会」としたのは申すまでもない事です。「継続は力なり」という言葉のとおり、毎年、「八東会総会」を開催しようということから始めたものです。

現在は私、前川勝が会長をし、佐藤

公二・男さんと、安田加子さんが副会長として他役員、クラス幹事の方々と、

会員の協力を戴き乍ら活動を続けてお

「八東会総会」には一度も欠かすことなく出席させていただいております。

今年は、「卒業四十五周年記念総会」と言うことで、東京支部の皆様方も参加されると聞き久し振りに、皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。

これからも、「八東会」には出席させて頂きたいと思っております。

会員の皆様方もこれからは、お互いに健康管理に充分に気を付けてゆきましょう。八東会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。」というお話をいただきました。

披露しました。

隠し芸では、私、会長の前川が手品を披露しました。

佐藤公二男 副会長の巧みな話術によるbingo・ゲームで盛り上がりました。

日本混声合唱団指揮者である杉原正城氏による「みんなで歌いましょう」。

ア) 時計台の鐘 イ) この道

ウ) 故郷 エ) 高校三年生

芸達者な方々の出し物に、心も目も奪われていたようです。特に、「想い出の歌」の数々を大声を出して齊唱すると、誰もが素直になれたような気がしました。懇親会を終えまして、場所を移して、飲み放題、歌い放題、語り放題の二次会はホテルのバーを貸しきつて行いました。

時間はあっけなく過ぎ、第八期生だからという訳でもないでしようが、ホテルの八階が私達のお部屋でした。幹事部屋で引き続き三次会が行なわれました。買い込んだビールをたちまちの内に飲み干し、狭い部屋で背中とお尻を合せて座り大声で語り明かしました。

「飲み食いの 時間も惜しむ 春の宴」

生物には帰省本能というものがあ

ると言われております。鮭が母なる

川に戻りますように、人間も生まれ育った場所へ年が取れば取るほど戻りたくなるものだ。と言うことを、何かの本で読んだことがあります。

同窓会では、社会の地位や名声をお互いに忘れて、勿論、高校時代の成績なんかとつくに忘れまして、數十年振りに会つても中間の年月を飛び越えて、お互いの会話を弾み、心和むものを得られるものだと思います。そして、心のリフレッシュをしきるような気がします。そんなものを得た私たちの八東会でした。

「また会おう 春風に誓う 別れ際」

東京支部の方々を中心にして、翌日は小樽、余市、祝津方面の観光をしました。快晴の朝、ホテルの前にバスが着き、行く者と見送る者と和氣藪々の別れでした。宇宙記念館、ニッカウヰスキー工場、旧青山別邸などを見学しました。

北一ガラス、石原裕次郎記念館など、楽しい旅行でした。お世話になり有難う御座いました」とお礼を言われ、本当にありがとうございました。

みました。

「卒業45年記念合同総会」を計画してよかつた。満足な会であつたと自負しております。

もちろんこれには、私も以上に、役員、クラス幹事、会員の方々が数回にわたり、手弁当で集まり、話し合い、ホテルの下見など綿密な計画のもとに行われたからだと思っております。

又、東京支部の石山支部長さん、星野副支部長さん、佐々木幹事長さん他役員の方々にも色々と、ご協力、ご尽力賜りまして多くの会員の皆さま方のご参加を頂き、内容の充実した「合同総会」になりました。

八東会会員の皆様方に心より感謝いたします。

以上



東京支部だより

「札幌市立高女・札幌東高同窓会東京支部総会 東京支部だより

思い起させば一年前、一本の電話で
会東京支部総会・懇親会（第二十五
回）の幹事を引き受けることになり
ました。もともとどうにかなるさとい
ういい加減な性格が幸いだったのか災
いだつたのか、なんとも言いがたいと
思いました。

う大役を背にしたまま動き出してしま
いました。
支部総会・懇親会は十一月十日
(日)、渋谷エクセルホテル東急にて開
かれました。いくら念入りに計画して
いても心配なものです。幹事一同、緊
張した一日が始まりました。総会は合
田美枝子女史（高女二十六期）の歎切
れのいい司会により順調に進行しまし
た。同窓会ならではの校歌合唱。札幌

東高という共通項を通じて集まつた素
晴らしい仲間と集うことができた喜び
を実感しました。懇親会での司会は東
高五期の倉島正夫氏の手に渡り、落ち
着いたそれでいて華やかな懇親会にな
りました。札幌からも小山國夫幹事長
が出席され、盛り上げてくださいまし
たし、忙しい中を駆けつけて下さった
山本益博氏（東高十七期、料理評論家）
は会に華を添えてくださいました。熱

い視線を浴びながらの大ビンゴ大会
(皆さんのご協力の賜物です)でおお
いに盛りあがり、楽しい歓談の時を過
ごしました。名残もつきませんでした
が、山口正武氏（東高十三期）が見事
な締めを披露してくださいり、めでたく
おひらきとなりました。
幹事になつたとはいえ、右も左もわ
からぬ状態でしたが、経験豊かな高
の方、東高五期の方々と相談しながら
ら進めていくことになつて

おり大変助かりました。常
任幹事の方も常に暖かい手
を差し伸べて下さりました。
た。かくも盛大な同窓会を

山本益博氏紹介の「てんぶら みかわ」(六本木ヒルズ)での食事会

無事に終えることができま
したのは、陰で支えて下さ
った多くの諸先輩のおかげ
です。このような素晴らしい
仲間に出会えましたことを
感謝してやみません。そ
してまた、沢山の方からあ
たたかい礼状をいただきま
したことを、この場をお借
りして御礼申し上げます。
ありがとうございました。

札幌東高二十九期

都築 久仁子



2002年11月10日



山本益博氏紹介の「てんぶら みかわ」(六本木ヒルズ)での食事会

(当番幹事 高女二十三期、
東高五期・二十九期)

第二十二回 平成十五年六月十九日（木曜日）

東高同窓会ゴルフ大会

ゴルフ部会長 氏家 保嗣
於 札幌芙蓉CC

初夏の絶好のコンディションの中、氏家会長の挨拶、その後三コースで打球式、北コース手島三郎東一期先輩、南コース秦敬東五期先輩、中コース宿院昌宏先輩、東九期先輩がナイシショット、各コースそれぞれ元気にスタート。

今回は四十二名参加、内レディス3名、初参加七名、東五期先輩三名の方も遠路東京より参加いただきました。

又、全道プロ選手権七位入賞した東三十一期橋立幸宏プロ（石狩江別所属）も参加。コースでは、氏家会長他東一期、二期の先輩方の元気あふれるプレー

いや橋立プロの、三百ヤード超のドライバーショットに、ため息も出て大いに盛り上りました。

例年、吉中同窓会会長、小林副会長、小山幹事長のご支援とご配慮を戴き、盛会裡に行われました。

来年も六月第三木曜日開催予定です。ゴルフ爱好者の参加をお待ちします。

成績は上記の通りです。

優勝	氏家 保嗣	(東一期)	G 85	H 120	H 73.0
準優勝	藤田 昭治	(東一期)	G 84	H 10.8	H 73.2 (年令上位)
三位	関 晃	(東五期)	G 90	H 18.0	H 72.0 (初参加)
四位	秦 敬	(東五期)	G 84	H 10.8	H 73.2
五位	鈴木 栄	(東二期)	G 101	H 27.6	H 73.4
	ベストグロス賞				
	伊藤 弘幸	(東十三期)	G 77	H 24	H 74.6
女子優勝	長谷 静子	(東七期)	G 109	H 33.6	H 75.4
団体					
優勝	東七期	阿部、青木、長谷、倉岡	H 29.8	4	
準優勝	東一期	氏家、藤田、喜多山、佐藤	H 29.8	8	
三位	東五期、四位	東十三期、五位	東六期		
ゴルフ会幹事					

陣内（九期）得能、中島（十三期）
北村（十九期）鈴木（三十二期）



左から 長谷静子（東7期）氏家会長（東1期）藤田昭治（東1期）



函館支部の近況

第八期同窓會常任幹事
中澤
廸也



第六十二回目の同窓会函館支部総会は、平成十四年十一月二日、「ラ・メゾンドウカンパニーユ」で十一名の会員が参加して開催されました。

当に楽しい一時を過ごすことができました。
函館支部の特色は何と言つても昭和十五年創設という歴史の古さと更に黎明期の方が現役の役員として残つているということに恐懼の念を抱かざるを得ません。

函館支部は二年前、創立六十周年と賀会が開かれましたことは、「札幌東高同窓会報」第二十九号に「還暦を迎えた同窓会」のタイトルで私の拙文を載せていただきました。

また、この二十年間事務局を引き受け函館支部の屋台骨を支えてくれていて、藤島さん（札東十六期）の存在を忘ることはできません。「山椒は小粒でもびりりと辛い」の諺通り、函館支部は頑張っています。そして創立百周年を間近に控えた本部札幌東高校同窓会の繁栄を心から祈念しています。

初回の同期会は昭和五十八年十一月四日、会場三川屋会館に於いて有志数名の幹事によつて行なわれた。第二回からは、各クラス（六組有り）が幹事としてとなり毎年開催する事に決定し、以来三組から四組、五組、と毎年続けられ昭和六十二年は、同窓会の幹事として四期、十八期、三十七期が、協力して四期の唯一博幸氏をキヤツプに~~二~~數名が協力して同窓会を大成功に導き、これを機会に同期の仲間意識や、団結心が生まれたように思います。六十三年が六組、平成元年は一組と綿々と会は毎年継続されています。

昨年は、三組の当番で旧校舎に近い中島で、新装成つたホテル・ライフオート札幌を会場に、恩師前田孝利、松尾雄一、遠藤忠の諸先生を含め遠く名古屋から出席一名を入れ六十四人の出席者があり、懐かしい高校時代の光景をスライドで放映し、二次会は同じホテル内で行なわれ楽しく杯を交わし思い出に浸つたことです。

今年は、第二十回になり、卒業五十年に成るので、明るく、楽しく、健康でを、テーマに、人生一〇〇年の時代”何時までも若さと友情を持ち続けよう”を合言葉に六月二十日会場

東高四期同期会

(昭和二十六年四月入学～二十九年三月卒業) の近況報告

東高四期 藤井良助

酒を酌み交わし、旧交を温めながらオカケ、ダンス、おしゃべり等、昭和二十七年の修学旅行の再現のように、時間を忘れ一夜を過ごした事昨日のようにも思い出されます。

井（森谷）千枝子、三組は、神奈川
県茅ヶ崎から坂本仁司、四組は、東
京都西東京市から菅原龍雄、五組は、
東京都練馬区から畠江成郎、6組は、
東京都府中市から内田（野上）容子

等、六名の方々の出席があり、締め切り日には六十五名に上りましたが、急用によるキャンセル四名があり、最終六十一名の出席となり、欠席の方は旅行との日程の鉢合せ、仕事との競合、ボランティア活動、健康診断（ドック）予定等による欠席、皆に会いたい心が伝わってくる思いを感じられ、来年も沢山のクラスメイ



東京東高四期同期会

の進学、スポーツ等の活躍状況の報告の後修身会員（会費一萬円）について説明があり、「今日ここに楽しく集い、青春の思い出を熱く語り合えるのは母校のお陰、今出来る事は後輩の育成と同窓の交流を充実させ、母校への感謝を表す術は”修身会員”に成る事と思う」と訴えがあり、うなずく顔が印象的であった。

最後に来年の幹事

（五組）の方々の紹介があり、五組代表の締めにより、二時間三十分の一次会は終了、ま

トに会える気がして居ります。六月二十日当日は、雨の中全員集合、広間にて記念撮影、会場に移動、幹事挨拶、恩師お二方からご挨拶を頂き、遠路出席の6名の方々から初めて出席の方々にも近況を述べて頂き、任幹事「唯博幸」より、現在の東高生

の進学、修身会員（会費一萬円）について説明

が、

また東京四期会は

友情の絆が強く、千

代田区九段南の「割烹

成山（二組成山（佐

藤）経営）」で毎年二

回、二月と八月に開

催して居り、今年は

二月二十二日十四名

の出席があつたと報

告が有り、六月札幌

へ行こうと盛り上が

つたと聞いて居ります。これが今回の盛り上がりの源で有つたと、幹事冥利に尽きると感じ入つて居るところであります。

小生も是非とも東京同期会に出席したいと考えております。



札幌東高校4期同期会 於 三川屋会館 本館 平成15年6月20日

第54回 東高祭

テーマ
MEMORY

7月11日・7月12日

き、今春卒業の五十三期の幹事も昼夜食事を取る時間が遅れるほどの盛況でありました。古江先生をはじめ新米の母校

担当にご協力下さいました皆様に厚くお礼申し上げます。
(藤枝 記)

母校担当 秦 泰子(高女二十四期)
中村紀子(東高十九期)

藤枝靖規(東高十四期)

終身会費のお願い

札幌東高校同窓会は、母校創立以来の卒業生延べ三万五千余名を会員とし、毎年、会員相互の交流と母校発展の寄与となる活動を行つておりますが、これらの活動経費を、入会金と年会費による収入だけでは継続充実させることは、年々、困難な状況になりました。

そこで平成八年度の総会において、会則を「年会費は、一ヶ年五〇〇円とする」に加えて、「毎年納付にかえて、一〇、〇〇〇円を一時に納入することにより、終身会費とすることができる」と改正しました。

終身会費納入の皆様には、「終身会費会員証」を発行しております。

現在までの終身会費納入者は、毎年八月発行の同窓会報にご氏名を報告の通り、本年六月末で一〇三名となつておりますが、これは会員数に対して〇・三パーセント弱という状況です。

つきましては、終身会費の趣旨をご理解下さり、終身会費納入にご賛同下さるようお願い申し上げます。

例年、行つてゐた飲物無料配布についても廃止の方向で動いておりましたが会議の中で、在校生に対しても窓会室に足を運んでもらう事が一番との事で、急遽実施する事となりました。翌日、秦副会長・中村副幹事長・西岡常任幹事に参加いただき、村山副幹事長に手配いただいた飲物を配布致しました。

一般公開日には在校生の他PTA・同窓生が、展示室をおとずれていました。



終身会費納付状況

〈H14.8月～H15.6月の納入者〉

会員番号	氏名	卒業期
97	神谷光彦	東高14期
98	間宮光信	東高10期
99	原田裕	東高21期
100	唯博幸	東高4期
101	山崎喜美子	一高2期
102	阿部健次朗	東高4期
103	小林洋巳	東高4期

（平成14年7月現在）

札幌市立高等女学校	25名
札幌市立第一高等学校	24名
北海道札幌東高等学校	54名
計	103名

平成十四年度 東高同窓会会務報告

平成14年7月1日から平成15年6月
30日までの主な会務を報告いたします。

1、総会及び支部活動、役員会等

- (1) 第93回同窓会定期総会 平成14年8月16日(金)／札幌パークホテル
当番期：東高19期・33期・52期
テーマ：「From EAST 2002 夢はるけし」
御礼：母校と会員各位のご協力に感謝し、当番期のご尽力に御礼申し上げます。
- (2) 第25回東京支部総会 平成14年11月10日／エクセルホテル東急プラネットルーム(渋谷)
当番期：高女23期・東高5期・29期
参加人数：約130名が参集し盛況裡に開催(小山幹事長出席)
- (3) 第62回函館支部総会 平成14年11月2日／ラ・メゾンドウカンパニ
参加人数：11名(8期中澤迪也常任幹事出席)
- (4) 札幌市役所支部(自彌会)総会 平成15年3月3日／サンプラザ札幌
参加人数：約100名(吉中新太郎会長出席)
- (5) 常任幹事会 平成15年2月1日／中村屋「議事」会務会計中間報告、
総会報告 平成15年6月17日／恵愛ビル「議事」幹事会提出議案審議、総会報告他
他
- (6) 定例幹事会 平成14年7月1日／恵愛ビル「議事」総会議案審議、会券配布
平成14年8月16日／札
- (7) 執行委員会 平成14年8月16日／札

2、同窓会会報

幌パークホテル 「議事」総会議案、運営他審議
平成14年9月25日／恵愛ビル 「議事」総会報告、組織・体制他審議
平成14年11月1日／恵愛ビル 「議事」組織担当チーム委員会

(8) 当番期引継会 平成14年8月16日／札幌パークホテル 「議事」総会総括・経験交流会

当番期実行委員会 平成15年6月11日(第3回)までに、発会協議会他

数回開催、着々と準備進展中

(9) 東京支部との協議会 平成15年2月23日／札幌グランドホテル 「議事」

支部規約、役員構成、母校100周年他「出席者」畠江副部長、小林

支部幹事長、吉中会長、川島副会長、

小山幹事長、川島副会長、

紙報告(会報31号)

東高53期新幹事を対象に研修会、

歓迎会を開催

(3) 新幹事研修会 平成15年5月17日／恵愛ビル

(2) 卒業証書授与式 平成15年3月1日／母校体育館

(1) 新入会員関係 平成15年2月28日／母校体育館

① 新入会員入会式

平成15年2月28日

新幹事委嘱

状授与、卒業記念品贈呈。卒業生

累計35、088名。

53期卒業生400名。

新幹事委嘱

じめとする会則の検討を進めます。

■会計報告

平成14年度決算報告並びに平成15年度予算(案)

(単位:円)

(平成14年7月1日から)

(平成15年6月30日まで)

(平成15年7月1日から)

(平成16年6月30日まで)

☆一般会計 平成14年度決算書

(収入の部)

科目	予算額	収入額合計
前年度繰越金	85,658	85,658
新入会員会費	792,000	800,000
会 費	700,000	550,000
雑 収 入	672,342	762,135
計	2,250,000	2,197,793

(支出の部)

科目	予算額	支出額合計
事務局費	150,000	150,050
事務用品費	40,000	3,675
印刷費	15,000	0
通信費	80,000	106,800
慶弔費	50,000	50,000
会議費	400,000	392,219
総会関係費	300,000	300,000
会報発行費	160,000	153,300
学校祭関係費	160,000	151,953
同期会等助成費	200,000	110,000
新会員関係費	330,000	280,240
体育文化助成費他	230,000	230,000
特別会計積立金	100,000	100,000
予備費	35,000	28,117
計	2,250,000	2,056,354

平成15年度予算(案)

(収入の部)

科目	予算額円	適用
前年度繰越金	141,439	
入会金	800,000	2,000円×400人
会費	700,000	年会費・終身会費
雑収入	658,561	総会準備金戻入・剩余金
計	2,300,000	

(支出の部)

科目	予算額円	適用
事務局費	150,000	諸会議費・交通費
事務用品費	40,000	事務用消耗品
印刷費	15,000	諸印刷代
通信費	80,000	郵便切手、はがき
慶弔費	50,000	慶弔費、餞別
会議費	400,000	役員会、諸会議費
総会関係費	300,000	総会準備金
会報発行費	160,000	会報印刷費他
学校祭関係費	160,000	学校祭協賛諸費
同期会等助成費	200,000	同期会・同好会助成
新会員関係費	330,000	記念品代、研修費
体育文化助成費他	230,000	在校生助成、後援会分担
特別会計積立金	100,000	積立金繰入れ
予備費	40,000	
計	2,300,000	

☆特別会計他積立金決算書

平成14年7月1日現在	金額	増額		減額		平成15年6月30日現在	金額
		金額	事由	金額	事由		
1 特別会計積立金						1 特別会計積立金	
(1) みずほアセット信託銀行札幌支店						(1) みずほアセット信託銀行札幌支店	
貸付信託	300,000					貸付信託	300,000
金銭信託	165	122	利息			金銭信託	287
小計	300,165	122				小計	300,287
(2) 中央三井信託銀行札幌支店						(2) 中央三井信託銀行札幌支店(社名変更)	
貸付信託	2,600,000					貸付信託	2,600,000
金銭信託	114,043	1,000	利息			金銭信託	115,043
小計	2,714,043	1,000				小計	2,715,043
(3) 札幌信用金庫本店						(3) 札幌信用金庫本店	
定期預金(14.6.28~17.6.28)	2,007,219					定期預金(14.6.28~17.6.28)	2,007,219
(4) 札幌銀行菊水支店						(4) 札幌銀行菊水支店	
ア 定期預金(13.6.27~16.6.27)	100,000					ア 定期預金(13.6.27~16.6.27)	100,000
イ 定期預金(14.6.20~17.6.20)	100,000					イ 定期預金(14.6.20~17.6.20)	100,000
ウ 定期預金(13.11.26~14.11.26)	973,655	312	利息			ウ 定期預金(13.11.26~14.11.26)	973,967
		100,000	新規			エ 定期預金(15.6.24~18.6.24)	100,000
小計	1,173,655	100,312				小計	1,273,967
2 預り金会計						2 預り金会計	
百周年記念基金(14.3.24~15.3.24)						百周年記念基金(14.3.24~15.3.24)	
札幌銀行菊水支店(定期預金)	2,422,022	775	利息			札幌銀行菊水支店(定期預金)	2,422,797
3 名簿基金						3 名簿基金	
札幌銀行菊水支店						札幌銀行菊水支店	
スーパー定期(13.7.10~15.7.10)	100,000	36	利息			スーパー定期(13.7.10~15.7.10)	100,036
合計	8,717,104	102,245		0		合計	8,819,349

増減計 102,245

監査報告書

平成14年度の同窓会会計につき、毎月作成の「同窓会会計出納計算書」、その都度作成する「収入・支出決議書」、その他「証憑書類及び帳簿・通帳」の監査を行いました。監査の結果、会計処理の手続き方法は、適切であると認められました。

よって、当監査役は上記決算書が、平成15年6月30日現在の財務状態を適正に表示していることを報告いたします。

平成15年7月7日 監査役 中村瞳三四
監査役 佐々木信義

札幌東高等学校同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は札幌東高等学校同窓会と称し連絡運営のため事務局を母校におく。
(白石区菊水9条3丁目 電話831-6332)
- 第2条 本会は会員の親睦と母校の発展に寄与することをもつてその目的とする。
- 第3条 本会会員は正会員並びに名誉会員よりなり、正会員は札幌東高等学校卒業生及び準ずるものとし、
名誉会員は札幌東高等学校旧並びに現職員とする。

第2章 役員及び組織

- 第4条 本会に名誉役員をおく
- (1) 名誉会長 1名 現母校校長
 - (2) 名誉顧問 若干名 旧母校校長
 - (3) 顧問 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
 - (4) 相談役 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
- 第5条 本会に次の役員をおく。
- (1) 会長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
 - (2) 副会長 10名以内 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
 - (3) 幹事長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
 - (4) 副幹事長 20名以内 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
 - (5) 常任幹事 正会員中より各期の推薦に基づき会長が委嘱する。
 - (6) 幹事 卒業時の各クラスより男女1名ずつ2名を選出する。卒業後7年を目処に、各期より若干名を改めて選出する。
 - (7) 監査役 2名 正会員より総会で選出する。但し前記役員とは兼任できない。
- 役員の任期は3年とする。但し再選を妨げない。
- 役員の任務は次のとおりとする。
- (1) 会長 会務を総括し本会を代表する。
 - (2) 副会長 会長を補佐し会長事故あるときは、その任務を代行する。
 - (3) 幹事長 役員の分掌する任務を総括し、幹事会・常任幹事会及び執行委員会を主宰する。
 - (4) 副幹事長 総務・広報・組織・母校・会計の任務を分掌し、幹事長を補佐する。
 - (5) 常任幹事 本会事業の運営について協議し、執行委員会の任務を補佐する。
 - (6) 幹事 会員間の連絡にあたり、幹事会に出席し組織強化に努める。
 - (7) 監査役 会計業務を監査し、会計の正常な運営を図る。
- 第6条 本会は次の機関をおく。
- (1) 総会 本会の最高議決機関で年1回定期総会を開き、必要に応じて臨時総会を開催する。
なお、定期総会の運営・実務は年次当番期が行う。
 - (2) 幹事会 総会に次ぐ議決機関で執行委員会の諮問事項を協議し、会の運営を協議、議決する。
 - (3) 常任幹事会 本会の事業計画、予算立案その他必要事項を協議する。
 - (4) 執行委員会 会長・副会長・幹事長・副幹事長で構成し、事業計画、予算立案その他必要事項を協議し、会の運営にあたる。

第3章 事業

- 第9条 本会は会の目的達成のため次の事業を行う。
- (1) 総会の開催
 - (2) 会誌の発行
 - (3) 母校発展のための事業
 - (4) 本会の組織強化のための事業
 - (5) その他執行委員会で必要と認めた事業

第4章 会計

- 第10条 本会の会計は正会員の会費・寄附金及び総会剰余金をもつてこれにあてる。
- (1) 入会金は、2,000円とする。
 - (2) 年会費は、1ヶ年500円とする。

ただし、毎年納付にかえて、10,000円を一時に納付することにより、終身会費とすることができます。

本会の会計年度は7月1日より翌年6月30日までとする。

監査役は会計年度終了時に会計監査を行い、その結果を総会に報告する。

第5章 附 則

- 第13条 会員は住所、姓名等一身上の異動があつたとき、これをすみやかに本会事務局又は各期代表幹事まで連絡しなければならない。

第14条 会則の変更は、総会において出席者の3分の2以上の承認を得なければならない。

会計業務は、母校事務局で行う。

本会則は昭和35年8月21日より施行する。

一部改正～昭和49年8月23日

昭和50年8月25日

昭和51年8月25日

昭和52年7月17日

昭和56年8月22日

昭和62年8月21日

平成8年8月23日

平成11年8月20日

北海道札幌東高等学校 同窓会役員名簿

平成15年 6月現在

役 職	担 当	氏 名	卒業期	郵便番号	住 所	電 話	勤務先	電 話	Fax等
顧 問		松 尾 静 江	高女22						
相 談 役		松 保 憲 ツ ヶ 子	東高01						
会 副 会 長	母 広	小野寺 五十嵐 吉 中	高女16 新太郎	東高01					
会 副 会 長	母 広	校 槻 秦 木 高 高	子 子 幸 美 紗 大	東高01 東高02	東高03 東高04	東高05 東高06	東高07 東高08	東高09 東高10	東高11 東高12
幹 事 長	母 広	報 織 織 会 計	田 島 內 城 枝 藤 本	弘 靖 公 康 間	靖 公 康 間	14	14	15	15
幹 事 長	母 広	校 槻 織 会 計	山 野 次 佐 佐	和 子 正 一	和 子 正 一	10	14	12	10
幹 事 長	母 広	校 槻 織 会 計	塙 橋 伊 皆	橋 橋 皆	祐 康 博	14	16	12	14
監 察 役		組 組 組 組	横 高 諸 伊	高 伊 皆	橋 東 川 村	16	17	19	16
常 任 幹 事		母 広	織 織 織 織	織 織 織 織	皆 山 村 白 佐	17	19	22	26
		母 広	会 計 会 計	会 計 会 計	村 嶺 山 嶺 々 木	忠 紀 司 信 三	東高22 東高26 東高28	東高21 信 三	東高28
		母 広	總 總 總 總	總 總 總 總	川 嶺 山 嶺 々 木	司 信 三	東高26 東高26 東高26	忠 紀 司 信 三	東高26
		母 広	會 會 會 會	會 會 會 會	原 嶺 々 木	12	15	15	15
		母 広	同 同 同 同	同 同 同 同	和 素 久 幸	12	25	25	25
		母 広	窓 窓 窓 窓	窓 窓 窓 窓	久 幸 保 修	12	26	26	26
		母 広	同 同 同 同	同 同 同 同	福 勝 家 長 谷	04	02	01	02

母校は今、

(近況報告)

■ 今春から学級減となり、九

間口(定員三六〇名)にな

りました。

団塊ジュニア世代にピークを迎えた

「十二学級」(定員五六四名)の入学検

査からしばらく十学級に戻っていましたが、ついに九間口になりました。中学校の絶対評価導入と相まって志願者が増えた結果、一・四倍という厳しい競争になりました。

■ 全道大会戦績

五月六月と、高体連(二部高文連)

の地区予選が各地で開催され、各部とも「東高魂」を發揮して熱戦を繰り広げました。ここには、紙面の関係で、全道大会の結果のみ紹介します。

[剣道部]

女子団体 全道五位

男子個人(後藤 存)二回戦進出

女子個人(岡部明香)三回戦進出

[体操部]

男子個人一部(城堀 豊・横山啓太)

男子個人二部(伊藤悠介・植田 光)

女子団体(川瀬絵里香・栗田みち子・竹谷 梢・鈴木 美紗)

女子個人二部(小山沙央里)

[卓球部]

男子団体 二回戦進出

男子団体 一回戦敗退

男子個人(青山元志)一回戦敗退

[空手]

女子個人 形(清水琴美)優勝(全

[陸上部]

女子四×四〇〇メートルR六位(全国大

[囲碁]

朗読部門(田澤和也)三位(全国大会出場)

放送局(田澤和也)三位(全国大会出場)

[囲碁]

朗読部門(八乙女聖太)

[■ 今春卒業生の主な進路先一覧 (道外進出傾向さらに強まる)

(1) 平成十五年度入試 合格者数集計
国公立大学以外は延数 () 内は前年度数

道内国公立大学

道外国公立大学

国公立大学 計

道内私立大学

道外私立大学

私立大学 計
大学校

26	2	190	43	147	158	50	108	(45)
(15)	(0)	(17)	(49)	(12)	(122)	(45)	(97)	

同期会助成金について

親睦の和を広げる同期会の助成金について、お知らせいたします。

(1) 目的 同期間の交流を拡大し

(2) 基準 卒業期全体を対象とする同期会とし、年1回に限る。(地域又は一部を対象とする会は除外する。)

(3) 金額 1回につき、一円とする。但し、初回は三万円とする。

(4) 手続 同期会開催通知(案内状等)に参加(予定)人数と銀行振込口座を付記して、事務局へ郵送又はファックス送信する。振込先は、同期会代表者又は会計担当者とする。

—あとがき—
今年度の会報をお届け致します。

お忙しい中、原稿をお寄せ下さいました校長先生を始め、同窓生各位、また学校関係の資料をまとめて下さった同窓会事務局の先生方に厚くお礼を申し上げます。会報ご希望の方は、母校事務局又は幹事長の小山へお申し出下さい。

寄贈のお願い

古いバッジ・卒業アルバム・その他思い出の物件を同窓会の備品として保管すべく整理しておりますので、お手持ちの方がおりましたら、ご寄贈下さいますようお願いいたします。

※ 事務局の住所・ファックス番号は、P14の役員名簿参照

※年会費五〇〇円領收いたしました。

平成十五年八月
東高同窓会長

専門学校等	合計	22	(16)
(2) 大学別合格者数 (一部抜粋)	401	(344)	(44)
① 北海道大学	23名	2名	3名
② 小樽商科大学	21名	67名	1名
③ 北海道教育大学	7名	35名	2名
④ 室蘭工業大学	9名	7名	3名
⑤ 札幌医科大学	2名	13名	1名
⑥ 東北大学	15名	3名	2名
⑦ 筑波大学	15名	15名	6名
⑧ 東京大学	15名	15名	3名
⑨ 一橋大学	15名	15名	2名
⑩ 京都大学	15名	15名	1名
⑪ 北海学園大学	15名	15名	1名
⑫ 北星学園大学	15名	15名	1名
⑬ 早稲田大学	15名	15名	1名
⑭ 慶應大学	15名	15名	1名
⑮ 北大医療技術短大部	15名	15名	1名